

◎別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第 8 回加東市滝野地域小中一貫校開校準備委員会		
開催日時	令和 6 年 7 月 2 3 日（火） 1 9 時 3 0 分から 2 0 時 4 5 分まで		
開催場所	加東市地域交流センター 2 階 研修室		
議長の氏名 （委員長 野瀬 光）			
出席及び欠席委員の氏名			
【出席委員】 2 0 人			
澤田眞委員 藤森敬史委員 野瀬 光委員 大久保信三委員 大久保祥男委員			
阿江孝仁委員 末廣義隆委員 藤井智章委員 松本孝介委員 藤井宗光委員			
重松祐介委員 川越勝則委員 竹内 司委員 藤川かほる委員 川越一宏委員			
小林豊茂委員 安田文子委員 前川妙子委員 後藤浩美委員 日置和子委員			
【欠席委員】 7 人			
芹生一二委員 高田好幸委員 玉田裕二委員 神戸つかさ委員 垣内基光委員			
合田忠弘委員 神田英昭委員			
説明のため出席した者の職氏名			
【教育委員】			
田中寿一教育委員 後藤純子教育委員 岸本恵一教育委員 別惣裕美子教育委員			
出席した事務局職員の氏名及びその職名			
教育長 藤原路寛			
教育振興部長 鈴木敏久			
こども未来部長 田中孝明			
こども未来部参事兼学校教育課長 井上裕子			
教育振興部 教育総務課 課長 西山英希			
こども未来部	小中一貫教育推進室	室長	丸山真矢
こども未来部	小中一貫教育推進室	副課長	高田 篤
	同	係長	榎 あゆみ
	同	主査	宇高健太
	同	主査	柴崎俊之
	同	主事	上月慧太

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

【議題】

- (1) 滝野地域小中一貫校の愛称について
- (2) 通学路の選定について

【報告】

- (1) 滝野地域小中一貫校先行造成工事について

【会議結果】

議題(1)(2)について資料に基づき、事務局から説明を行い、審議しました。

報告(1)について事務局から報告しました。

【会議の経過】

1 開会

教育長あいさつ

2 議事

(1) 滝野地域小中一貫校の愛称について

(委員長)

それでは、議事の(1)「滝野地域小中一貫校の愛称について」を協議していききたいと思います。

この件につきまして、7月2日に開催された第4回学校運営委員会において協議をしていただきました。

その会議での協議結果について学校運営委員会の代表から説明をお願いします。

(\*\*\*委員)

先ほど委員長からありましたとおり、第4回学校運営委員会では、滝野地域小中一貫校の愛称について協議を行いました。

具体的には、愛称の候補を募集するのか、それとも委員会で協議して案を出すのか、募集をする場合、募集範囲や募集方法はどのようにするのかといったことを話し合いました。

学校運営委員会では、滝野地域にお住まいの方、滝野地域の小中学校の児童生徒、教職員、もしくはその卒業生といったゆかりのある方から、1人1点までで募集を行うのが良いのではないかという結論になりました。

また、選定方法は応募数に関わらず、学校運営委員会で投票を行い、上位3～5点を開校準備委員会に報告し、そこで最終的な1点を選定し、教育委員会へ報告するということでまとめました。

細かい募集方法等は事務局に説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料1に基づき、愛称の募集方法等について説明した。

(\*\*\*委員)

選定に応募数は関係ないということだが、同じような名前の応募がもちろんあると思いますが、それらの応募数が関係ないというのが引っ掛かります。

応募数に関係ないということは、例えばAという候補があつて同じ名前で何人から応募があつたという資料は出ないと思うが、判断の材料がないと委員会で選定する際に意見が分かれて決めかねる事態にならないか。

(事務局)

同じ名前が応募されることはあると思いますが、その応募数で順位決めを行い、1位が愛称として決定するというわけではないということです。

また、選定する際の資料として応募されたすべての候補の一覧と応募数が記載してある資料を用意させていただくつもりです。

たくさんの候補が集まると思いますが、学校運営委員会で3～5点程度に絞り込み、それを開校準備委員会にあげたいと考えています。

(委員長)

最終的には開校準備委員会のほうで1点を決定するというところでよろしいでしょうか。

<異議なし>

## (2) 通学路の選定について

(委員長)

それでは、議事の(2)「通学路の選定について」ですが、これについても第4回学校運営委員会で協議をされたということで、代表より説明をしてもらいたいと思います。お願いします。

(\*\*\*委員)

通学路の選定についてですが、まず、事務局からスクールバス乗降場所を含む通学方法の決定までの経緯の説明があり、その後、委員の皆様から意見を頂戴しました。

通学路の選定の方針としましては、PTA 地区役員さんや区長さんに通学路の選定を依頼することでまとまりました。

今年の9月から来年1月までの期間で、地区役員さんと区長さんとで通学路を協議していただき、通学路案を提出していただきます。それらを学校運営委員会及び開校準備委員会で協議するといった流れです。

そうして決まった通学路は、通学路安全プログラム等を通じて見直しや改善を重ね、令和10年度の開校を目指すという流れです。

以上が学校運営委員会で協議した結果の概要になります。詳細については、事務局に説明をお願いしたいと思います。

(事務局)

- ・資料２に基づき、通学路の選定について説明をした。

(\*\*\*委員)

個別対応というのが漠然としていて、どんな対応になるのかなということですが、例えば2kmの円より外側に子どもがいる河高地区や上滝野地区、北野地区のうち稲尾地区に近いところに関しては個別対応ということですが、スクールバス対応をすることを前向きに考えるということなののでしょうか。

(事務局)

個別対応ですが、実際にお家から小中一貫校まで徒歩で3kmを超える場合は個別対応をさせていただきます。東条地域でも個別対応をしていますが、そちらでは近くまでスクールバスで対応しています。

また遠距離通学の申請をしていただくことも可能で、保護者に燃料費をお支払いし、最寄りのバス停か学校まで送っていただくというような場合もあります。

北野地区のうち稲尾地区に近いところについては、以前の開校準備委員会で稲尾地区と同じ通学班であるところは稲尾地区と同様の対応をすべきと決まりましたので、稲尾地区と一緒にスクールバスで登下校します。

上滝野の3kmを超える範囲については開校時には児童がいないことが確認できています。

令和10年4月の開校時には河高地区の一部である安取や市営住宅の付近の方は個別対応が必要になると考えています。

### 3 報告

#### (1) 滝野地域小中一貫校先行造成工事について

(事務局)

- ・滝野地域小中一貫校に係る先行造成工事について報告した。

(\*\*\*委員)

A工区とB工区に民家があるが、これの解体撤去について報告がなかったと思いますが予定などあるのでしょうか。

(事務局)

A工区の民家ですが、今年の12月までに撤去いただくこととなっております。また、同じA工区で南東の交差点のところに農業用倉庫がありましたが、こちらは撤去が完了しており、これらについて工事に影響はありません。

また、B工区の大きな農業用倉庫についても撤去が完了しておりますので、工事に影響はありません。

## 5 今後のスケジュール

(事務局)

- ・資料4に基づき、今後のスケジュールについての説明をした。

(\*\*\*委員)

先日、滝野地域小中一貫校基本設計市民報告会が開催されましたが、いろいろな意見が出ましたが、またあのような市民説明会とか報告会を開催されますか。皆さんいろいろな不満があったので、また市民の意見を聞く機会を設けてほしいと思う。

(事務局)

7月14日に基本設計の市民報告会を開催させていただき、30人弱の市民の方に基本設計の報告をさせていただきました。その際にもご意見、ご要望等もいくつか承っております。

現在は実施設計を行っており、基本設計をもとに引き続き学校の先生からのご意見も頂戴しながら設計を進めています。

開校準備委員会やホームページ、議会でも報告させていただく予定ですので、実施設計の報告会を開催し、市民の方からのご意見を頂戴するという事は考えていません。

## 6 閉会

副委員長挨拶

### 【資料名】

- 資料1 滝野地域小中一貫校の愛称について
- 資料2 滝野地域小中一貫校通学路の選定について
- 資料3 令和6年度滝野地域小中一貫校 先行造成工事 工区図
- 資料4 令和6年度滝野地域小中一貫校開校準備委員会スケジュール (案)

令和 6年 8月 23日